

学校教育目標	[心をあわせ あかるくのびる 北綱の子]					
	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら問題を発見し、解決することができる子を育てます(知) ・自分も友達も大切にし、思いやりのある心をもつ子を育てます(徳) ・心と身体をきたえ、安全への知識と態度を身につけ、自分や人の生命と身体を大切にすることを育てます(体) ・北綱島のまちに学び、まちに生きる子を育てます(公) ・様々な社会の変化に対応し、未来をひらく子を育てます(開) 					
学校概要	創立 41 周年	学校長 基野 啓司	副校長 粟飯原 桂子	2 学期制	一般学級: 20	個別支援学級: 5
	児童生徒数: 666 人		主な関係校: 日吉台中学校 北綱島特別支援校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p><自分の考えをもち、対話を通してよりよく問題解決を図る力></p> <p><つながりを考え、合意形成する姿勢></p> <p><伝え合うことで自分の考えを深化させる力></p> <p><主体性・積極性></p>	<p>日吉台中学校 北綱島小学校 日吉南小学校 日吉台小学校 矢上小学校</p>	<p>自己のよさに気づき、友達のよさも認めあえる子【笑顔】 進んで他者と関わり合い、地域に生きる子【あいさつ】</p> <p>・小中一貫教育推進ブロック内の公開授業、児童生徒交流、教職員の協働で小中一貫教区の質を高める。 ・年間通してあいさつの大切さを指導するとともに、ブロック共通の「あいさつ月間」には、計画委員会を中心とした児童主体のあいさつ運動に取り組む。</p>

中期取組目標	<p>○「チーム北綱島小」として全教職員が学校運営に参画し、活力と魅力ある学校づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教科分担制」を導入し、学級の壁を越えた「チーム指導」を目指す。 ・「主体的に取り組む授業の実践」(知)「挨拶・あたたかい心」(徳)「体力向上・食育」を目指した教育活動を展開する。 ・地域や家庭と連携し、災害を中心とした様々な危険から身を守り、自助・共助の態度を養う安全防災教育の充実を図る。 ・学校運営協議会等を通して、学校・家庭・地域が共通理解を図り開かれた学校づくりを目指す。 ・教職員の働き方改革を進め、先生が授業や児童への関わりにできるだけ専念できる環境を作る。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①体験活動や人とのかかわりを充実させ、主体的に学ぶ力を伸ばすようにする。 ②重点研究を核に、辞書やICTの活用を進めることで、対話的な活動や地域とかかわりや話し合い活動で豊かに関わり合い、表現できるようにする。
豊かな心	①道徳の学習で、教科書を使用した授業を充実させて道徳的価値を味わえるようにするとともに、保護者にも参観の機会を設け、理解を得られるようにする。②特別支援学校と、運動会を通しての全校の交流や学年単位の交流だけでなく、日常生活を生かした取り組みを通して互いの理解が深まるようにする。
健やかな体	①校内での生活の仕方、校庭での遊び方等について、「きたつなハンドブック」を通して共通理解を深め、一貫性のある指導を続けていく。②全校や学年での集会、児童委員会の企画、クラスの取り組みを通して、運動に親しみながら、友達との交流を深められるようにする。③体力テストの結果から、固定遊具を使った遊びに積極的に取り組めるよう声をかける。
地域連携	①地域とのつながりを更に深められるように、地域コーディネーターと連絡を取り合いながら、学習の中で児童と地域の方がふれあう場面を意図的、計画的に取り入れるようにする。②ほっこりサポーターの認識度を高め、協力者を増やして、より一層連携を進めていくようにする。
安全防災教育	①「北綱安全防災プラン」に基づいた安全防災に関するカリキュラムの作成をする。全教科において、安全防災に関わる視点を取り入れていく。②地域保護者参画の学校総合防災訓練を実施し、「地域防災」をテーマに地域と学校の連携がより強化できるようにする。③新しい想定避難訓練を計画・実施していくことで、児童が主体的に判断し行動できるようにする。
特別支援教育	①学習環境を整え、誰もが安心して学べる教室(ユニバーサルデザイン、合理的配慮)にする。②校内特別支援委員会を定期的に開催し、支援が必要な児童について教職員で共通理解を図り、同じ指導・支援ができるようにするとともに、特別支援教育支援員制度を活用し、特別支援教室のさらなる充実を図る。
働き方改革	①生き生きと働く教職員集団となることで、子どもも元気に活動できると考え、学校行事や校務を見直して少しでも時間的な余裕を作るようにする。②「北綱島小働き方改革プラン」を策定し、順次実行していく。③グループウェア(ミライム)を導入し、業務の効率化を図るとともに会議や打ち合わせの時間を短縮する。
学校運営協議会	①学校運営協議会や、諸行事、授業参観等を通して学校と地域の情報共有、協力体制、共通理解を更に深めていく。 ②委員の方々との意見交流を更に充実させ「地域学校協働活動」を推進する。
児童指導 いじめへの対応	①特別支援教育・人権理解研修、夏季児童指導研修を実施して、全教職員のいじめに対する意識を高くするとともに、「先生、あのねタイム」やいじめ調査アンケートにより、いじめ防止基本方針による迅速なチーム対応と小さな変化を見逃さない体制づくりをする。②いじめ防止対策委員会を定期的に開催し、スタンダードによる組織的指導を継続させ、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで、安心して学べる学校、再発防止、いじめゼロを目指す。
人材育成・ 組織運営	①外国語推進チームとメンターチームを改編し、月に1回、外国語活動の研修及びメンティーの育成に取り組む。②一人一役、担当分野の任務を担い、ミドルリーダーも学校全体を視野に入れた運営に携われるようにする。③行事や各取り組みについて、事前に教職員間の連絡調整を行い、企画運営の円滑化を図る。